



平成 29 年 8 月 23 日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉  
(コード番号 9202 東証第1部)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室  
グループ総務部長 坂爪 浩  
(TEL . 03-6735-1001)

2017年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画の一部変更に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社において、2017 年度下期のANAグループ国際線・国内線航空輸送事業計画の一部を変更いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

## 2017年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

ANAグループは、2017 年度下期の航空輸送事業計画の一部を変更いたします。

今年度上期において、羽田空港の深夜早朝時間帯を活用し羽田＝ジャカルタ線を増便するなど、成田・羽田の両空港それぞれの特性を踏まえてネットワーク及び運航ダイヤを調整し、日本発需要のみならず、堅調な訪日需要や北米～アジア間の渡航需要の高まりにもお応えする『首都圏デュアルハブモデル』の強化を着実に推進してきました。

今年度下期においては成田＝ロサンゼルス線を 1 日 2 便へ増便するなど、国際線ネットワークを拡充することにより、ビジネスや観光における日本の国際競争力の強化にも貢献してまいります。(\*1)

(\*1)ANA NEWS 第 17-028 号(2017 年 6 月 28 日付)にて発表済み。

国内線では、需要動向や競争環境に応じた路線便数の最適化と投入機種種の柔軟な調整を推進しつつ、路線ネットワークを充実させてまいります。

また、引き続き、機内の快適性と居住性に優れた新型機の導入を推進し、お客様のさらなる利便性向上に努めてまいります。ますます便利になるANAを、是非ご利用ください。

国際線、国内線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下のとおりです。

\*これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としております。

### 1. 国際線

2017 年 10 月 29 日(日)からは、日本及びアジアとの間の旺盛な渡航需要にお応えするべく、成田＝ロサンゼルス線を 1 日 2 便へ増便いたします。東京からのロサンゼルス線は 1 日 3 便となり、お客様の選択肢が広がるとともに、拡大を続ける北米～アジア間の乗り継ぎ地点として成田の競争力強化につなげてまいります。

#### (1)新規開設・増減便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝ロサンゼルス	2017年10月29日～	7往復/週	14往復/週	※1
羽田＝香港		9往復/週	12～14往復/週	※2
成田＝成都		7往復/週	4往復/週	

※1 ANA NEWS 第 17-028 号(2017 年 6 月 28 日付)にて発表済み。

※2 深夜早朝時間帯に運航の NH821/NH822 を増便します。期間によって運航曜日が異なります。

詳細につきましては ANA SKY WEB をご確認ください。

## (2) 機材変更

路線	実施時期	変更前		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
羽田＝クアラルンプール	2017年10月29日～	B787-9	7往復/週	B787-8/B787-9	7往復/週	※1
羽田＝バンクーバー		B787-9	7往復/週	B787-8/B787-9	7往復/週	※1
成田＝ホーチミンシティ		B767-300ER B787-8	7往復/週 7往復/週	B767-300ER B767-300ER/B787-8	7往復/週 7往復/週	※2
成田＝北京		B787-8	7往復/週	B767-300ER/B787-8	7往復/週	※2・4
成田＝シンガポール		B777-300ER B787-8	7往復/週 7往復/週	B787-9 B787-8	7往復/週 7往復/週	※3
成田＝デリー		B787-9	7往復/週	B787-8/B787-9	7往復/週	※2・4

※1 一部期間において運航機種の変更に伴い、プレミアムエコノミーサービスの設定が無い期間があります。詳細につきましては ANA SKY WEB をご確認ください。

※2 一部期間において運航機種が異なります。詳細につきましては ANA SKY WEB をご確認ください。

※3 NH801/802 を B787-9 に機材変更予定。復路便は翌日からの機材変更となります。

※4 復路便は翌日からの機材変更となります。

\* 当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

## 2. 国内線

国内線ネットワークのさらなる拡充を図りつつ、時季ごとの需要動向を踏まえ、路線・マーケットに応じた運航機材の最適化を推進いたします。

### (1) 増便・再開

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝広島	2017年10月29日～ 2018年3月24日	9往復/日	10往復/日	期間増便
羽田＝石垣		2往復/日	2往復/日	期間増便継続
羽田＝沖縄		12往復/日	12往復/日	期間増便継続
広島＝札幌		—	1往復/日	再開 ※1
札幌＝沖縄	2018年2月9日～3月15日	1往復/日	2往復/日	期間増便

※1 エアドゥ運航便とのコードシェアを休止いたします。

### (2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
関西＝札幌	2017年10月29日～ 2018年3月24日	4往復/日	3往復/日	期間減便
名古屋(中部)＝旭川	2017年11月27日～12月21日	1往復/日	—	期間運休
名古屋(中部)＝女満別	2017年11月27日～12月21日 2018年1月10日～1月25日	1往復/日	—	期間運休
福岡＝宮崎	2017年10月29日～	6往復/日	2往復/日	※1
福岡＝福江		2往復/日	1往復/日	※1 ※2
福岡＝沖縄	2017年11月27日～12月21日 2018年1月9日～3月15日	8～9往復/日	8往復/日	※2
沖縄＝石垣	2017年11月27日～ 2018年2月8日	6～7往復/日	5～7往復/日	※2
沖縄＝宮古		6往復/日	5～6往復/日	※2

※1 オリエンタルエアブリッジ運航便とのコードシェアを開始及び便数を変更いたします。詳細は本日発表の ORC/ANA 共同リリースにてお知らせいたします。

※2 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては ANA 時刻表または ANA SKY WEB をご確認ください。

### 3. 貨物専用便

2009年より運用を開始しているフレイター(貨物専用便)による『沖縄貨物ハブ』については、引き続き那覇空港を中継地とした国内及びアジア主要都市との貨物流通の重要な拠点としての位置付けは変わりませんが、より効果的な貨物ネットワークを構築する為に、沖縄貨物ハブ経由の緊急輸送需要が相対的に低い土曜深夜運航路線(実運航曜日は日曜)を運休するとともに、需給バランスを踏まえた厦門・青島路線の再編を行ってまいります。

#### (1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後
成田－バンコク	2017年10月29日～	－	1片道/週
天津－成田		－	1片道/週
関西－上海(浦東)		6片道/週	7片道/週
上海(浦東)－関西		－	1片道/週
厦門－成田		4片道/週	5片道/週
広州－成田		1片道/週	2片道/週
成田－青島		3片道/週	6片道/週

#### (2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
沖縄＝上海(浦東)	2017年10月29日～	6往復/週	5往復/週	土曜深夜運航路線の運休に伴う減便
沖縄＝台北(桃園)		6往復/週	5往復/週	
沖縄＝ソウル(仁川)		6往復/週	5往復/週	
沖縄＝香港		6往復/週	5往復/週	
沖縄－バンコク		6片道/週	5片道/週	
広州－沖縄		6片道/週	5片道/週	
羽田＝沖縄		6往復/週	5往復/週	
関西＝沖縄		6往復/週	5往復/週	
関西－名古屋(中部)		6片道/週	5片道/週	
成田－沖縄		6片道/週	5片道/週	
沖縄－成田		7片道/週	5片道/週	
名古屋(中部)－沖縄		6片道/週	5片道/週	
天津－関西		5片道/週	4片道/週	
成田－厦門		7片道/週	5片道/週	
沖縄－青島		6片道/週	－	需給バランスを踏まえた再編に伴う減便
青島－沖縄		3片道/週	－	
厦門－沖縄	3片道/週	－		

以上